

平成 23 年 2 月 10 日

千葉木鶏クラブ
(311回 例会)

「2011 年の気象を読む」～異常気象、続けばこれが日常に！！～

春から縁起が良いとは、寒くとも暦における立春そのものと理解していた。

今年の立春は、例年と違い暦通りの穏やかではあったが異変続きで、春一番とも言える大相撲春場所の中止は波紋が広がり存続そのものも危ぶまれている。

神事が凝縮されている日本の国技だから尚更のこと、神々の怒りは自然現象となって天地降臨の聖地、霧島新燃岳の噴火と重なる。

唯一の朗報は、愛知・名古屋の民衆への飛び火は真の民主主義芽生えの正春と言える。

新燃岳の噴火に限らず、民衆マグマは自然現象の表れとして古きしがらみ体質の曖昧模糊の魑魅魍魎の世界に一条の光明を見出してくれた。

今回は、人間と気象には不思議な関係があると論じられている気象研究家「幣 洋明（へいひろあき）」先生からお話を聞く機会を得ました。

滅多に聞くことの出来ない貴重なお話です。どなたでも自由に参加できます。

皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成 23 年 2 月 27(日) AM 8 時 ~ 11 時

2. 場 所 : 平山建設(株) 会議室(6F)

成田市花崎町 795

電話 0476-23-1111

<交通案内> 京成成田駅東口徒歩 5 分、JR 成田駅徒歩 8 分 駐車場有り。

3. 会 費 : 1000 円

4. 演 題 : 「2011 年の気象を読む」～異常気象、続けばこれが日常に！！～

5. 講 師 : 幣 洋明(へいひろあき) 先生 気象研究家

昭和 8 年 2 月 7 日 生れ、神戸大学・農学部卒業(昭和 31 年 3 月)

職 歴 神戸海洋气象台、関西気象協会、NHK 大阪中央放送局

大洋漁業(株) 北洋鮭鱒船団の予報官(7 回出漁) 日本レーベル印刷(株)、

(株) ウエザーニューズ(チーフプランナー)

ラジオ・テレビ出演: NHK-FM・日曜喫茶室: 天気を味方にする方法

テレビ朝日・クイズ! 天気のご不思議、ニュースステーション

日本テレビ・伊東家の食卓: 飛行横雲が現れると雨

主な著書: 『天気予報のまるまる得する利用法』(千秋社)・『天気予報の裏を読む』(ダイヤモンド社)『熟年世代のお天気講座』(成山堂)『暴風圏で鯨を捕る』(成山堂)と多数。

6. レジюме

1) 地球温暖化現象の実態 極地と大都市の温暖化が先行

2) 人間と気圧の不思議な関係 気圧変動がビジネスの成否を分ける

3) ドキュメント南氷洋捕鯨 捕鯨になぜ気象予報が必要なのか

4) 2011 年の気象を読む 天気・天候に強くなる予報術

川柳: 豆まきを したのに家に 鬼が居る ぷ〜ぬく

千葉木鶏クラブ事務局 丸島 忠夫 Email: marushima_t@snow.plala.or.jp l/Fax:0475-25-1211